

江東区青少年委員だより

No.54号

江東区青少年委員会
広報調査部
江東区青少年センター
江東区亀戸7-41-16
TEL.3681-7334
FAX.3681-8732

初の試み 夢の島中学生体験プログラム開催

災害時・緊急時を想定した仮想体験に中学生が参加

自分が行ってみたい都立高校って 本当はどんなところだろう??

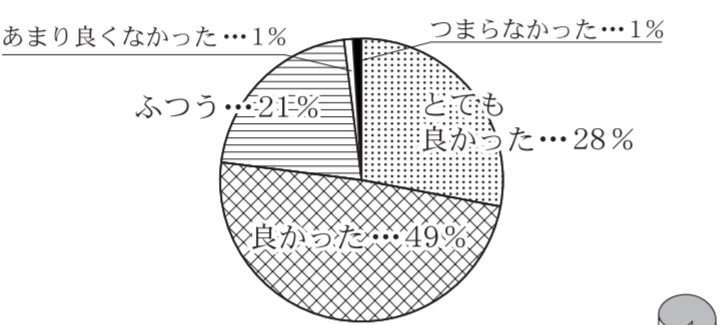
生徒がそれぞれに発表! 第3回江東区都立高校紹介



各校趣向をこらした発表

平成21年8月29日(土) 都立科学技術高校において今年で3回目となる、江東区内都立高校紹介が開催されました。小・中学生や保護者を対象に江東区内にある、城東・東・深川・江東商業・第三商業・墨田工業・科学技術・大江戸計8校の都立高校に実際に通っている高校生から、各校の特色のある教育活動を紹介してもらいました。会場を視聴覚室とサイエンススクエアの2ヶ所にして、4校ずつ順番を入れ替え、発表をしてもらいました。今年は新型インフルエンザの影響もあり、直前に欠席連絡が相次ぎましたが、最終的に426名もの参加者がありました。

紹介者の高校生も年を重ねるごとにそれぞれに工夫し、参加者から、各高校の特色が出ていて生の声が聞けたとの感想をいただき、関心の高さがうかがえました。終了後には多くの方からアンケートをいただき、企画についての感想、要望などのご意見は、今後の参考にし、「行ける学校」ではなく「行きたい学校」を選んでもらえるよう、ますますこの企画をより良いものにしていきたいと思えます。



- 要 望**
- 各高校に事前に共通のアンケートをとって、その結果が一覧でわかる資料があるとよりわかりやすかった。
 - 説明する高校生に質問する時間がほしかった。
 - 高校生の体験(高校を選んだ理由や今の気持ち)が聞きたかった。
 - 機材のトラブルがあったので、事前にリハーサルをしっかりとしてほしい。



各高校の発表に聞き入る参加者



初の試み、しかも新型インフルエンザの流行で開催そのものが危ぶまれましたが、中学生諸君の熱意により実現できました。感想の中で、1日でいろいろな体験ができて良かった、今日学んだことをしっかり覚えて知らない友達にも教えてあげたい、この講習を定期的に続けて欲しい、など今後の継続に期待する声が多かったです。突然目の前で人が倒れたらどうしますか? お風呂の中・トイレの中で地震が起きたらどう対応しますか? いざという時あなたは何ができますか?

平成21年9月26日(土) 都立夢の島公園において江東区青少年委員会が主催する「夢の島中学生体験プログラム」が開催されました。当日は江東区在学・在住の中学生24名(男子14名・女子10名)、青少年委員28名、計52名が参加して、災害時・緊急時を想定したプログラムを体験しました。

晴天に恵まれた中、午前中はホールにて江東区総務部防災課長武越信昭氏より、防災についての講義を受けた後、屋外の自然の中で、地震体験車の乗車、護身術の体得を行いました。参加者は真剣に受けていました。

そして備蓄食料で昼食をとりました。午後からは救命技能講習を受講し、芝生の上に中学生と青少年委員が車座になり、夕食をとった後、夜には夢の島熱帯植物館ナイトツアーで、南国に育つ多くの植物を見せていただきました。

中学生参加者に本日のアンケートを記入してもらったところ、参加してよかったと言う感想が多く聞かれ、初の試みは次につながるものとなったのではないのでしょうか。

中学生の緊急時体験と感想

各地区ごとに集合、青少年委員が引率して出発
集合…都立夢の島公園に集合

防災対策の講義と体験…「自分の生命・財産は自分で守る」ことで「自助・共助・公助」が大切だと実感。
地震体験車では阪神淡路大震災の「震度7」も体験し、とっさの時は何もできないと感じた。湾岸署の警察官から護身術を教わり真剣に実際に何度も練習し、ちょっとしたコツで防御でき、いざというとき使えそう。
緊急時の簡易トイレ体験では想像もつかない状況が起きそうだ。

昼食…昼食は備蓄食料のかやくごはん、水でもお湯でも作れ、初めて食べたがとても美味しかった。
そのほかに手打ちうどんも食べた。

救命技能講習…テキストに沿った講義を受け、人工呼吸の体験、初めてAEDを使い人命救助を体験したが、実際その場面に遭遇したとき、今日の体験を役立てたい。後日、修了者認定証を受領。

夕食…夕日が沈むなか公園内の芝生の上で夕食を全員で食べ、その後全員で記念撮影。
熱帯植物館…熱帯植物館ナイトツアーには各班に別れ、ツアーガイドの説明を聞きながら、夜しか見られない植物など珍しい熱帯植物を観察した。
帰宅…バスで各地区へそれぞれ帰宅。
感想…最初は不安だったがいろいろな体験ができてよかった。
楽しかったので、これからは積極的に参加したい。護身術、救命技能講習は定期的に続けてほしい。

真剣にAEDを体験中!!

工作とかんたんゲーム 誰もがより良く実感すること!!

レク活動指導者講習会

平成22年1月23日(土) 砂町区民館タウンホールにて、指導者養成部主催でレクリエーションの講習会が行われました。昨年に引き続き、橋本和秀氏の指導のもと、「指導者と参加者では立場が違うが、本質は同じ、リーダーだって楽しみたい、いっしょにやれば楽しい雰囲気は連鎖していく」というお話をうかがい、早速講習へ。
前半は『名札交換ゲーム』、4〜5人のグループに分かれて『リズム打ち』、同時に言葉を出してことばを当てる『ステレオゲーム』、5本の指をそれぞれ担当して行う『人間ジャンケンゲーム』など、どんどんバリエーションが増えていき、いろんなところで使えるゲームを教わりました。
後半は『素材をもう一度生かすクラフト=思い出のカプセル作り』で、ペットボトルを再利用し、さまざまな素材を使い、参加者の個性が存分にうかがえるボトル飾りができました。
「リーダーとして、参加者として誰もがより良くを実感すること!!」を実践していけば、色々な場面でレクリエーションが中身の濃い、充実したものになることでしょう。



ジャンケンゲームを実践

作品作り集中!!

江東区民まつり 大好評!!

もちつき実演コーナー



大人気のもちつきコーナー

平成21年10月18日(日) 都立木場公園にて江東区民まつりに恒例のもちつきコーナーを設けました。前日より準備をし、当日は委員一丸となって餅をつき、多くの区民の皆様へ配布することができました。午前・午後と配布しましたが、どの時間帯もあっという間に「きな粉餅」が好評のうちに無くなりました。その他、昨年同様、青少年委員会の活動についてアピールのために、パネルを展示しました。

宿泊研修会 平和への祈り永遠に

平成22年2月6日(土)・7日(日) 研修旅行として倉敷・広島方面に行きました。岡山空港から博識のベテランバスガイドの案内のもと鷺羽山、倉敷、鞆の浦を見学。歴史、地場産業、地元の名家さらには仏式と神式の拍手及び賽銭の仕方の違いなどの勉強にもなりました。
夜は鞆の浦の鳴風亭に宿泊。
翌日は、平和記念公園で慰霊者への祈りをささげ、資料館の見学をしました。その後、宮島の厳島神社に参拝し、広島空港から無事に帰京。
2年間の任期を締めくくると研修旅行は、盛りだくさんの有意義なものとなりました。



平和記念公園にて

平成生まれの「成人式」 盛大に開催

平成22年1月11日(月) 成人の日、ティアラこうとう大ホールにて江東区成人式が行われました。区内で新成人を迎えた3,570人のうち2,330人が参加しました。今年の式典は、昨年までの2部制から1部制になり、時間を凝縮させた「式」になりました。



着付け直しコーナー

式典会場前で記念撮影



気持ちも新たな新成人

江戸から東京について 新たな思い

生涯学習施設見学会

平成21年12月5日(土)に青年団体育育成部主催の生涯学習施設見学会が「東京の歴史と文化を振り返ることによって未来の東京を考える」をテーマに、両国の江戸東京博物館で行われました。当日は多数の参加者があり二つのグループに分かれ、復元された日本橋からスタートして、ボランティアガイドによる丁寧で熱心な説明に耳を傾け、江戸から明治・大正・昭和へと短い時間ではありましたが、内容のある見学となりました。
参加者の皆さんは、江戸から東京について新たな思いを抱いたのではないのでしょうか。



江東区青少年委員会



熱心な説明を受ける青少年委員

また外国の方も多数見学会に訪れており、江戸・東京の人氣を改めて知ることとなりました。
見学会の締めくくり集合写真を撮影し、ちゃんこ鍋での昼食となりました。
お鍋の熱だけでなく暖かい雰囲気の中、親睦を深めることができました。

和気あいあいの編集会議。色々勉強になりました。(N.K)
2年間おつかれ様でした。(N.K)
さまざまな活動に参加し、あらためて青少年委員会を見つめることができました。(I.I)